

講義科目名称： 多文化共生論

ナンバリング： N-13-03-D

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	選択
担当教員			
渡邊太 (watanabe@cygnus.ac.jp)			
授業形態	授業時間数	授業時間外学習時間数	科目区分
講義	15時間	30時間	基礎分野【社会科学】
添付ファイル			

特記事項	資格選択区分 ☐ 看護師資格必修 ☐ 保健師資格必修 ☐ 養護教諭二種免許必修 ☐ 看護師資格選択必修 ☐ 保健師資格選択必修 ☐ 養護教諭二種免許選択必修 ディプロマポリシーとの関連性 ☒ 広い視野と人を思いやる豊かな人間性をはぐくみ、人生の問題や課題に誠実に向き合う力 ☐ 高い倫理性と堅固な使命感をもって生き抜き、人に寄り添う力 ☐ 専門的な基礎知識と論理的思考にもとづいて看護実践する力 ☐ チームワークを重んじ、創造的に多職種と連携・協働する力 ☐ 病院から地域・在宅へと療養の場が移るなかで、地域で暮らす人びとの健康と生活を支え、地域とともに歩む力 アクティブ・ラーニング ☐ あり ☒ なし 実務経験のある教員による授業科目の配置 ☐ 担当している ☒ 担当していない 実務経験を授業科目にどのように活かしているか 科目等履修生ほか受入（受入可能人数） ☒ 受入可 ☐ 受入否 受入可能人数 若干名
------	--

授業の概要	この授業の主題は、異なる文化的背景をもつひとたちが「共に生きる」ことである。人類が築いてきた文化はきわめて多様である。異文化を理解する方法を身につけ、差別や排除ではなく、「共に生きる」ために必要な社会的条件について考える。					
到達目標	・多文化共生の課題について自分なりに考え、主体的に取り組むことができる。 ・文化の多様性を理解し、他者の文化を尊重できる。					
授業計画	回	授業内容	授業方法	自己学修課題(予習・復習)	取組時間	担当者
	1	グローバル化とナショナリズム	講義	【事前】 シラバスを読む。 【事後】 授業内容を復習する。	2 時間	渡邊
	2	文化としての食事	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	3	難民と移民の権利	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	4	障害とバリアフリー	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	5	ヘイトスピーチとヘイトクライム	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	6	朝鮮半島と日本	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	7	ジェンダーとセクシュアリティ	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 授業内容を復習する。	4 時間	渡邊
	8	まとめ 差別と偏見を越えて	講義	【事前】 配布資料を読む。 【事後】 課題に取り組む。	4 時間	渡邊

先行履修科目	
テキスト	資料を配付する。
参考文献	西江雅之『食べる〔増補新板〕』青土社 宮島喬『「移民国家」としての日本』（岩波新書）岩波書店 望月優大『ふたつの日本―「移民国家」の建前と現実』（講談社現代新書）講談社 横塚晃一『母よ！ 殺すな』生活書院 安田浩一『ネットと愛国』講談社 風間孝・河口和也『同性愛と異性愛』（岩波新書）岩波書店 その他、適宜、指示する。
評価方法	レポート70%、コメント提出等30%
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	コメントに対して授業時に応答する。 課題の評価が「不可」の場合は個別に説明する。
備考	多文化共生に関連する時事問題への関心を持って授業に取り組むことを期待します。